



とっておきの場所が完成

のいち冒険の森にツリーハウス

3月12日(月)県立のいち動物公園の下にある「冒険の森」に、大きなヤマモモの木を利用した3階建のツリーハウスが完成しました。

昨年9月から香長ネイチャーの会(恒石勝会長)のメンバーが遊びを通して子どもたちに里山や自然のすばらしさを教えたいと計画し、ボランティアで作業にあたっていたものです。

野市小学校5年生の、森林グループは、総合学習の中で森林のことに取り組んでいます。児童たちは、メンバーから木の特性や森林の役割などを教わりながら、伐採したヒノキやスギの皮はぎ、ノコギリやカンナを使っての階段づくりなどに精を出しました。

完成したツリーハウスから眺める景色に、児童たちは「最高!ここで泊まっていきたい!」などと大喜びでした。



地元の産品を使ってね!

香南市商工会 第14旅団駐屯地視察

2月23日(金)香川県善通寺市の陸上自衛隊第14旅団駐屯地に香南市商工会員26人が視察研修に訪れました。平成22年に香我美町鳥越地区に駐屯する第50普通科連隊に備え、隊員が地元産品に関心が持てるように厚生センターの各テナントを見回りました。各テナントとも売価が安く、生活用品のアイテムも豊富でした。駐屯までに期間もあり、商工会内部で検討を続けていく予定です。

ぐうーっと、ぐぐうーっと!!

土佐赤岡どろめ祭り宣伝隊 土佐のおきゃく

3月9日(金)高知市中央公園で開催されたイベント、土佐のおきゃく2007「おきゃくでギネス」に、第51回土佐赤岡どろめ祭り実行委員会メンバー22人が参加しました。

会場では、どろめ祭りのメインイベント「大杯飲み干し大会in高知市版」を行い、どろめ音頭の披露やどろめ汁(200食)を無料で振る舞い、4月開催のどろめ祭りをPRしました。

大杯飲み干し大会への出場者は少なかったものの、「ぐうーっと、ぐうーっと、ぐぐうーっと」の名行司にあおられ大杯を飲み干す参加者に、多くの声援がかけられ、会場は盛り上がりました。



来るべき災害に備えて協力

鏡石町・鏡野町・香南市 防災応援協定締結

3月1日(木)福島県鏡石町と岡山県鏡野町、香南市が災害時にお互い助け合い、救援活動を行う「防災応援協定」を結びました。この2町と旧香我美町は「がみ友好町村災害相互応援協定」を結んでいましたが、今回、香南市として協力関係を新たにしました。

地理的条件から同時に被災する可能性が低い3市町がこの協定を結ぶことは非常に有意義であり、近い将来南海地震が予測される香南市に心強い絆が結ばれました。



鏡石町役場で木賊町長に協定書を手渡しました

ぴかぴかの遊戯室で

野市東幼稚園 はっぴょうかい



2月28日(水)老朽化のため改築された遊戯室で、園児たちの発表会が行われました。

例年は12月に行いますが、新しい遊戯室を楽しむに一生懸命練習してきた園児たちは、劇や合奏などをいきいきと披露。木の香りに包まれた遊戯室に招待された保護者たちは、成長したわが子の姿を熱心にビデオやカメラで追い、さかんに拍手を送っていました。

平和の尊さを後世に

第1回戦没者追悼式



3月10日(土)のいちふれあいセンターで、1,368柱の御霊をしのぶ第1回香南市戦没者追悼式が開催されました。

仙頭市長が式辞として平和を守り続ける決意と住みよい郷土の繁栄を共に誓い、遺族をはじめ約300人の参列者は、一人ひとりが思いをこめた菊の花を祭壇に手向けました。

きれいな海岸を取り戻そう!

吉川海岸 不法投棄ゴミ撤去作業

3月10日(土)・13日(火)の両日、吉川海岸で不法投棄されたごみの撤去が、地域住民や一般ボランティアや多くの子どもたち、約200人の協力で行われました。

防波堤と波消ブロックの間には、空き缶や空き瓶などのほか、自転車やストーブなども捨てられており、参加した人たちは、汗をかきながら作業を行っていました。2日間で約15トンのごみを収集しました。



交通安全は家庭・地域・職場から

交通安全母の会 研修会

2月28日(水)香我美市民館で香南市交通安全母の会(石川鶴子会長)の学習会が開催されました。

合併後、広域になったことで新たな活動の指針にと先進地香美市の会長、村田珠美さんを招きました。村田さんは、身近に経験した交通事故の悲劇から、この活動への思いがより真剣なものになったそうです。学習会では、親の立場・女性の立場からきめ細かく積極的な取り組みと活動の報告がされました。会場では約50人の会員らが熱心に耳を傾け、石川会長は「交通事情がどんどん変わっていく香南市で、十分な活動ができるよう組織力を強くしていきたい」と意欲的に話していました。

